一般質問通告一覧

1	青野　直	1	流山市総合計画後期基本計画における人口及び財政課題への取り組み姿勢について
		2	市内小学校の整備計画及び学童クラブの整備について
		3	流山本町の活性化及び南部地域の安全対策について
2	根本　守	1	交通問題について
		2	公有財産の管理について
3	野田　宏規	1	本市のコンセプトである「都心から一番近い森のまち」のイメージ維持について
		2	本市救急隊の増隊について
4	森田　洋一	1	流山本町における外国人観光客誘致の充実について
5	近藤　美保	1	子育てが困難なご家庭に寄り添う支援策について
		2	職住近接の働き場の創出について
		3	流山市の女性職員の管理職への登用について
6	藤井　俊行	1	「子育てのまち」を実感できる事業の展開について
		2	本市の環境にやさしい低炭素政策について
7	小田桐　仙	1	教育行政について
		2	保育行政について
		3	ごみ行政について
8	乾　紳一郎	1	教育行政について
		2	国民健康保険について
		3	南部地域のまちづくりについて
		4	保健・福祉について
9	植田　和子	1	憲法９条について市長の見解を問う
		2	新川耕地の巨大物流センター建設の市民生活への影響について
10	徳増記代子	1	教育行政について
		2	ぐりーんバスについて
11	西川　誠之	1	第７期高齢者支援計画の策定プロセスについて
		2	人口増加に伴う児童・生徒の受け入れ態勢について
		3	「待機児童ゼロ」に向けた本市の保育所整備について
12	西尾　段	1	初石駅周辺の交通安全対策について
		2	「子ども食堂」について
		3	流山本町、利根運河、キッコーマンアリーナなどの市外への宣伝について
13	加藤　啓子	1	流山市の人口急増による市政への影響について
		2	市民と協働する職員育成等について
		3	総合教育会議の長としての市長の教育理念について
14	斉藤　真理	1	「ふるさと納税」を流山市のブランド戦略に活かす取り組みについて
		2	いじめ対策について
15	菅野　浩考	1	ヘルプマークの周知に関する本市の取組み姿勢について
		2	地域学校協働活動及び特別の教科 道徳への取り組みについて
16	楠山　栄子	1	福祉有償運送促進に向けた取組みについて
		2	流山市子どもの読書活動推進計画について
17	野村　誠	1	本市の廃棄物対策について
		2	自転車活用推進法の取り組みについて
18	坂巻　儀一	1	観光資源としての「利根運河」の活用と周辺整備について
19	戸辺　滋	1	江戸川台小学校前の歩道の安全確保について
		2	認知症による徘徊高齢者の早期発見対策について
20	阿部　治正	1	介護保険制度が抱える課題と本市の対応策について
		2	国民健康保険制度の広域化（都道府県単位化）について

子ども食堂を始めるための支援を！

市民クラブ　西尾　段

問 **貧困や孤食の子ども達に温かい食事を提供する「子ども食堂」が全国に広がっている。流山市内の状況はどう把握しているか。また、今後、子ども食堂を始めようとしている方への支援についてどの様に考えているか。**

答 **子ども家庭部長**　東深井の子ども食堂「風の村流山・から風流（ふる）」、駒木台こども食堂、下花輪の東葛病院こども食堂の３カ所を把握しています。

新しく始めようと思った方が始めやすい支援としては、調理室のある福祉会館、公民館などの情報を提供したり、インターネット、書籍などのさまざまな子ども食堂に関する情報をもとに、アドバイスをしたり、既に先行実施をしている事業者の方を紹介する等の、側面的な支援を現状では考えています。

先進市にならい、早期に人口ビジョンを作るべき

自由民主党　加藤　啓子

問 **想定外の人口増加で小学校不足の問題の他、必要となる事業は何か。流山市は人口減少自治体ではないため、国の作った人口ビジョンではなく、他市のように建設予定や交通網開通等の理由を考慮した人口ビジョンを作成すべきでは。**

答 **市長**　今年度中に、次期総合計画策定の基本フレームとなる将来人口推計をまとめ、来年度から具体的な次期総合計画の策定作業に入ることから、その中で事業や財源について検討します。

流山市の場合は下期実施計画、そしてまち・ひと・しごと創生総合戦略の中で人口ビジョンを併設してまとめていますが、これを個別にする理由はないと考えます。

流山市の人口ビジョンの部分は、国の方針に沿って書いています。

ふるさと納税を本市のブランド戦略に活かす

公明党　斉藤　真理

問 **平成27年度流山市「ふるさと納税」の収支は約1500万円の赤字だった。寄付を希望される方に流山市を選んで頂くために、より共感を得やすい寄付項目や、魅力ある返礼品の開発、リピート率を上げる取り組みなどについて問う。**

答 **総合政策部長**　寄付を集めるために基金の内容をよりわかりやすい表現に改めたいと思います。例えば基金を使用する事業内容や基金名にサブタイトルをつけるなど表現の改善を行い、共感を得やすいよう工夫をしたいと思います。

新たな商品開発は、「ブラッスリーしんかわ」のみりんを使ったプリン、レタンプリュスの焼き菓子、百貨店セレクト商品などを検討しています。

寄付者が継続的に支援をしたいと思える事業や施策であることが重要であると考えています。寄付金がどのように使われたか、ホームページで掲載するなど、目で見える形でお知らせすることが大切であると考えています。

「ヘルプマーク」周知の取り組み姿勢について

菅野　浩考

問 **認知症や妊娠初期、視覚障害や聴覚障害、内臓疾患、義足や人工関節など、外見で分からない援助や配慮が必要な方が支援を得やすくなる様、私の５年前からの質問により市が県に働きかけ県でヘルプカードを配布するが、市の周知はどうか。**

答 **健康福祉部長**　ヘルプマークは、今後国内の統一マークとして位置づけされれば、８月の広報紙や市ホームページへ掲載し、周知に努めます。各障害者団体へ周知するとともに、障がいに応じたヘルプマークの活用に対するご意見の聴取を考えています。また、障害者支援課窓口で配布の障害者福祉の手引きにヘルプマークを追加記載するよう準備を進めています。県ではヘルプマークにかわり、緊急連絡先や病名、医療機関、血液型、服薬状況などが記載できるヘルプカードを作成中で、年内には各市町村に配布予定とのことから、本市も障害者団体からの意見を参考とした上で、まずは障害者を対象として配布したいと考えています。

学校司書設置と図書館ホームページについて

市民クラブ　楠山　栄子

問 **近隣市のほとんどは学校司書を全校設置し、研修も実施しているが、流山市は一部配置で、研修もない。全校配置にむけて具体的な設置計画をたてるべきと考えるがどうか。また、市立図書館のホームページに子どもページを作ってはどうか。**

答 **生涯学習部長**　市の学校図書館司書の配置は、９つの中学校区に各１名の配置計画となっています。平成28年度は、西初石中学校と西初石小学校に１名配置、平成29年度は南部中学校、流山小学校、流山北小学校に１名配置です。配置後は、貸し出し冊数が西初石小学校で約59・８％の増加との報告を受けています。今後勤務対応や勤務内容等の見直しを行いながら、平成30年度を目途に、全中学校区に配置することを計画しています。

ホームページは、図書館電算システムと一体化した契約となっています。契約更新を来年９月末に予定していることから、更新時に合わせて子どもページの作成を検討したいと思います。